

第6回銚子市行財政改革審議会 会議概要

日 時：平成28年11月7日（月）午後1時30分～午後2時40分

場 所：全員協議会室

出席者：委 員 大塚委員、伊永委員、館野委員、岡田委員、野口委員

銚子市 越川市長 島田副市長 飯田理事 宮澤政策企画部長 長島総務市民部長
石井健康福祉部長 笹本産業観光部長 椎名都市環境部長 山口教育部長
山口消防長 野口水道課長 安藤秘書広報課長 宮内財政課長 林保険年
金課長 網中税務課長 林医療対策課長

事務局 小保方課長補佐 野口主査 猪田副主査

傍聴者 市民5人、市議会議員7人 ほか報道各社

| | |
|----------|---|
| 事務局 | 1 開会 ただいまから第6回銚子市行財政改革審議会を開催します。 (傍聴者に対する注意事項説明) |
| 伊永会長（議長） | 2 議事 それでは第7次の大綱案を議題にします。前回の会議の大綱案から見直しをした部分について説明をお願いします。 |
| 事務局 | (資料1に基づき説明) |
| 伊永会長 | 市立高校について2箇所の修正がありました。5ページは、市内の中学校が7校から2校に統合されますが、市内に高校が3校あります。この3校をどのような運営形態とするのか、教育委員会として是非議論してもらいたいし、千葉県とも議論する必要があります。16ページは、人口と生徒数が減少し、昨年度の出生者数は300人を下回りました。この子ども達が高校生になる15年後にはどういう形態がいいのか、中学校の統合も踏まえて、県や周辺の市とも協議し、あるべき姿を議論してもらいたいということです。 |
| 大塚委員 | 19ページ以降に詳細な収支見通しを入れましたが、収支見通しはあくまで予測ですから、現実との乖離が出てきます。このため、明確に収支見通しと実績との乖離が生じた場合には迅速に対応を講じるという表現を入れても |

らったので、この文言は是非生かしてもらいたいと思います。

野口委員

5ページの市立高校は、問題があることについて議論を進めてもらいたいので、必要という表現が大事だと思います。また、財政収支見通しが極めて厳しい状況ですので、是非行政改革を確実に実行してください。平成28年度の税収は80億円を下らないということで、平成28年度の数字がベースになりますから、これも実行してもらいたいと思います。

岡田委員

進行管理が非常に大事で、特にスピード感と迅速さが重要になると思います。こうしている間にも、それ以上のスピードで街の衰退が起きています。駅前で50年近く営業していた魚料理のお店が12月4日に閉店します。銀座通りの有名なパン屋も12月いっぱいまで閉店します。これは両方とも業績が悪くて閉店する訳ではありません。一方は後継者の問題もありますが、一方は銚子の先行きの見通しを悲観した閉店です。色々な方が、業績の良いうちに辞めてしまう傾向が出始めています。それになるべく早く歯止めをかける上でもスピードが非常に大事だと思います。それと見通しと実績には必ず乖離が出てきます。それをいかに早く修正するか、それが今後大事になってくると思います。

館野委員

収支見通しの21ページを見ると、参考の表で行財政改革の見込額の累計に23億4,100万円という数字が上がっていて、これだけの行財政改革によって累積赤字額がゼロになり、赤字転落を防ぐ形になっています。これは是非とも達成していかなければいけないと思います。また、来年度は国の税収の減が見込まれているので、そういうことも踏まえながら対応していかなければなりません。それと20ページの注2で、国民健康保険事業に対する基準外の繰出しについては、保険料が決まっていないことから、金額を入れると運営審議会の審議にも影響を与えるので、入れられない状況は理解しましたが、基準外の数字というのは、ある程度の金額は出てこざるを得ないかと思います。少なくともゼロにはならないだろうと思います。この数字が入ると赤字化が懸念されますので、数字が入ってきた場合における市の心構えを聞かせてもらいたい。

政策企画部長

前回の料金改定のと引き上げ幅を抑えるために、料金改定を2分の1、基

準外の繰出しを2分の1という形での料金改定をしていますので、何らかの形で一般会計から国保会計へ繰出しをしなければならないと思います。ただ現時点では、国保の運営審議会で議論していますので、その結果がどうなるかはまだ決まった訳ではありませんけど、一般会計もそれなりの基準外の繰出しをする覚悟をもって、この収支見通しの推移を見守らなければならないと思います。仮に繰出しが半分あった場合であっても、この収支見通しの中で納まるような運営をしなければならないと思いますので、さらに行革の効果を、これ以外の部分でもフォローしていかなければならないという覚悟をもって運営は進めていきたいと思っています。

館野委員

是非ともその覚悟をもって臨んでもらえればと思いますので、よろしくお願いします。

伊永会長

19ページから21ページまでに5年間の財政収支見通しを出していますので、衆人環視の下で行政をやらなければならないという、プレッシャーの掛かる場面かと思っています。しかし、委員5人が共通して思っているのは、そういう厳しい監視下であってもやり遂げてもらうしかない。それについては、4人の委員が述べられたような重要なポイントがありますので、これは外さないようにやっていくしかありません。

この大綱案について委員の意見は出尽くしたということによろしいでしょうか。それでは最終的にこの大綱案を審議会として認めるかどうかの挙手をお願いします。

(挙手全員)

伊永会長

ありがとうございました。それではこの大綱案をもって、第7次銚子市行政改革大綱の案とします。この案は、この後パブリックコメントにかける訳ですが、スケジュールはどうなっていますか。

事務局

この後、市としての大綱案を早々に決めまして、12月の月上旬から下旬までの期間でパブリックコメントを実施する予定となっています。

伊永会長

まず市の行政改革推進本部でこの案を承認するのかを決めて、それからパ

ブリックコメントにかけるということですね。

事務局

そのようになります。

伊永会長

それでは資料1は以上のようなスケジュールで進められます。次に資料2を見てください。これは前回の審議会で、この大綱には5番目の項目が必要ではないかという議論がありました。5番目の項目としては、大綱の行革効果を上げるための喫緊の課題、あるいは重要なポイントは何なのか、というところを、第6次の大綱までとは違う視点から見た方がいいのではないかと、審議会終了後に委員5人で議論した結果です。資料2の大綱案の答申に当たっての留意してもらいたい事項について、舘野委員から説明をお願いします。

舘野委員

(資料2に基づき説明)

伊永会長

説明があったとおり、審議会の総意で守っていただきたい注意事項を決めました。これは大綱の本文ではありませんが、大綱以上に重要な位置を占めるとご理解いただければと思います。これは私どもがこの半年間誠意をもって最善の努力をしてきたことを8項目にまとめたもので、大綱をこれから5年間で実施していくに当たり、市長、副市長以下執行部の皆さんに、実態がこれに即していることを求めたいと思います。よろしくお願いします。

次に、前回の審議会でも市民に分かりやすく広報するための大綱の要約版のようなものを作る必要があるという議論をしました。これについてご意見はありますか。

野口委員

大綱の概要版をA3裏表くらい分量で、分かりやすい内容のものを市民に配布してもらいたいです。大綱はボリュームがありますので、なるべく数字的なものを入れながら、重要な点に絞って、誤解のない内容にしてもらいたいです。もちろん大綱の留意事項は指針となるので、是非入れてもらいたいです。

大塚委員

概要の作成に当たって、大綱の文章を省略して数字の部分だけにすると、かえって分かりにくくなります。是非改革に当たっての銚子市の意図、意思

をはっきり出すような要約を作り、細かな数字については大綱を見るような作り方をした方がいいと思います。

伊永会長 狙っているのは、そういうことだご理解いただけたと思います。事務局でスケジュールはどのように考えていますか。

財政課長 現時点では、1月中に大綱を完成して、2月の広報に載せたいと思っています。ただ、A3両面のボリュームですと広報4ページ分に当たりますので、どれだけ紙面が確保できるのか今のところハッキリ分かりませんので、なるべく今言われたような趣旨を反映できるように調整したいと思います。

伊永会長 1月中に大綱が決まって、2月の広報というスケジュール感でしたが、予算の時期と重なり、大変ではありませんか。

財政課長 おっしゃるとおり、予算編成の時期でもありますので、事務的に煩雑になる部分があるかも知れません。それと1月中に大綱を完成して2月1日の広報というのもスケジュール的には厳しい面もありますので、場合によっては3月号ということも含めて検討したいと思います。

伊永会長 広報のA3裏表の案ができたときには、見落としなどあるかも知れませんが、拝見することは可能ですか。

財政課長 出来上がった段階で、公表する前にお示ししたいと思います。

伊永会長 予算で繁忙な時期ですので、早めに是非お願いしたいと思います。

大塚委員 大綱の実施は平成29年度からですが、大綱の中に平成28年度中にまとめることになっているものが、かなりあります。そういうものは平成29年度からではなく、当然進めてもらわないといけないと思いますので、それはお願いしたいと思います。

財政課長 平成28年度中に進めるべきものは、当然、現在も進めていますので、それをきちんとやった上で推進期間に臨んでいきたいと思っています。

伊永会長

本日用意していた資料は以上ですが、他にご意見はありますか。特にないようですので、以上をもちまして本日の会議は終了します。この後、市長に対して答申を行いますので、その準備が整うまでしばらくお待ちください。

(午後2時20分～午後2時30分 休憩)

3 答申

事務局

大変お待たせしました。答申の準備ができましたので、よろしくお願ひします。

(伊永会長、野口副会長、越川市長、島田副市長 向かい合う)

伊永会長

(答申書読み上げ)

(伊永会長から越川市長へ答申書を手渡す)

4 市長挨拶

越川市長

5月18日から半年間でしたけど、5人の委員の皆様には、本当に熱心なご議論、また専門的な立場からのご意見、市民代表の立場からのご意見を頂き、第7次の行政改革大綱の案をまとめていただきました。本当にありがとうございます。

これまでの大綱案の策定というのは、まず市の事務局の方で原案を策定し、それに基づいて答申を頂くという形でした。それではやはり形骸化してしまうということで、今回は白紙の状態の中から、各委員の皆様に原案を出していただき、それを取りまとめたものをダイレクトに案とする全く新しい、これまでの策定の形とは変わった手順・手続で進めていただきました。銚子市にとっても本当に画期的なことであり、また、大変活性化した審議会であったと感じています。今後は、銚子市の行政改革推進本部の中で、さらに議論を深め、あくまで答申を基本としながらも抜け落ちている部分、あるいはもっと議論をすべき点を十分に深めながら、市としての大綱案をまとめ、パブリックコメントを経て、来年1月には正式な大綱をまとめたいと考えています。

思い起こせば、銚子市が財政危機であることを宣言したのが、平成25年5月の3年半前のことでした。銚子市の当時の財政推計では、平成31年度までに約37億円の累積赤字が発生をする。平成29年度には、財政再生団体になるというのが当時の財政収支の見通しでした。そのような中で銚子市としても事業仕分けを行い、病院の改革を行い、あるいは職員の給与カットも行う。市民の皆様にも負担をお願いするという中で、なんとか赤字決算への転落を避けてきました。

しかし、今回の財政収支見通しにあるように、まだまだ厳しい財政状況は続きます。赤字転落の可能性はまだまだ続くという状況です。そのような中で答申にありましたことを基本として、さらに行革を進め、銚子市を活性化するためのお金を生み出していかなければならないと思っています。昨年策定した銚子市の総合戦略でも、確かな暮らしの形を築くためには、成長戦略が必要だということをうたっています。銚子市の成長戦略を成し遂げるためにも財政再建が必要です。財政の安定が市の活性化に繋がり、市の活性化が財政の安定に繋がる。そのようなことの中で、財政の改革も銚子創生もともになし遂げていく。そういうスタンスに立って、これからも改革を進めていきたいと思っています。

委員の皆様には、引き続き財政状況をきちんとチェックしていただきながら、ご指導・ご鞭撻を頂ければと思っています。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

5 閉会

以上で第6回銚子市行財政改革審議会を閉会します。

事務局